

そよかぜ

64

2026/8/1

社会福祉法人長須賀保育園

編集人：広報委員会

発行人：堀口貴宏



水たまりを見つけると、目を輝かせてパシャパシャ！

足を勢よく踏み込んで跳ね上がる水しぶきに、子どもたちの大きな歓声ととびきりの笑顔が響き渡ります。

夏の太陽にも負けない元気いっぱいの時間を過ごしました。



園庭が泥のワンダーランドに！

―― 五感で楽しむ、夏の大冒険

夏の日差しが降り注ぐ園庭に、ダイナミックな「泥の世界」が登場！「本当にいいの！？」と裸足で飛び込むと、「冷たい！」「きもちいい！」と大興奮。顔に泥がつくと「みてみて、ひげ～！」と大はしゃぎです。

「川を作ろう！」と始まった大工事では、ダムが崩れて水が溢れるハプニングが発生！しかし「きゃーー！！」「じゃあ泥団子だ！」「足も入れちゃえ！」と、新しい遊びに変えて笑顔を広げていきます。全身泥だらけになって「泥の洋服」に変身する子も、体いっぱいに泥の心地よさを楽しんでいました。



「どうもろこしって、どんなふうに大きくなるのかな？」
畑には、子どもたちの知的好奇心にあふれた対話が響いています。図鑑のイラストと本物を見比べ、「一緒だね！」と目を輝かせる子どもたち。ひげを優しく触っては「もじゃもじゃー！」と五感で素材を認識し、葉っぱの上の小さなアリをじっと見つめる。こうしたリアルな「原体験」が、

もじゃもじゃ、テッカテカ！ 五感で味わう、畑の「大発見」

自然科学への興味を広げる豊かな土壌となっています。
この自然へのアプローチは、もう一つの畑でも息づいています。「先生！ナスが大きくなってるよ！」と、年長児が毎日大切に育ててきた、ナスとミニトマトのエリアです。「ナスは紫だからお花も紫。でもトマトは黄色だ」という気づきは、共通点や相違点を見出す思考そのもの。命に主体的に関わることで、生き物への深い愛着と責任感が育まれていきます。
そして、子どもたちの学びは「収穫」という達成感でさらに深まります。何枚もの頑丈な皮を一生懸命めくると、中から鮮やかな黄色の実がひょっこり顔を出しました。「わあ、黄色だ！」と目を輝かせ、採れたての香りを堪能する姿。一方、立派に育ったナスを手にした子どもたちからも、「わあ取れた！」「テッカテカ！」と、自らの成果を実感した歓声が響き渡ります。

驚きや発見を「誰かと共有したい」と望むのも、この時期の大切な成長です。どうもろこしを前に「ママにあげたい！」と、まるで宝物を扱うように胸にぎゅっと抱きしめる可愛らしい姿がありました。自分の「できた！」という喜びを大好きな家族へ



の思いやりへとつなげていく姿に、胸が温かくなります。

さらに、収穫体験は「食育」における自信へと繋がっていきます。収穫後、給食に調理されて登場したナス。普段は野菜が苦手な子が、「みんなが育てたものだから」と促されてパクリと口にすると、その表情は一変！「なんだこの美味しいものは！」と見事に完食しました。

「大好きな人に届けたい」という優しい心、そして「苦手なものに挑戦できた」という誇らしげな笑顔。畑という生きた学びの場で得られる実体験は、子どもたちの非認知能力を多面的に育んでいます。

これからも、子どもたちの「なんだろう？」「やってみたい！」というみずみずしい感性を大切に受け止め、その育ちに伴走していきたいと思えます。



小さな畑がつなぐ 大きな未来

土がむすぶ、ちいさな手とおおきな手。

――「お芋のギモン」と「リベンジスイカ」で笑い合う、畑の夏ストーリー――

さとの保育園の畑では、園児と隣接するデイサービスの利用者様が「土」を通じて結びつく、温かな世代間交流が広がっています。季節ごとに表情を変える色鮮やかな畑は、世代を超えたみんなにとってワクワクが詰まった特別な場所です。

ある日、畑のカカシを見て子どもたちは大騒ぎ！「本物かと思った！」「僕のぬいぐるみも置いてあげたいな」と可愛いアイデアが飛び出します。また、畑の名人が「水をあげすぎると、根っこが腐ってお腹が痛くなっちゃうよ」と教えると、ある男の子がお尻に手を当てて「お芋もトイレに行くの？葉っぱもおしっこする？」と素直な疑問を連発！これには名人たちも思わず大爆笑、畑には終始賑やかな笑い声が響き渡ります。

「大根の間引きをしたよ！」と嬉しそうに話す園児を、名人は「本当にすごいね」と優しく見守ってくれます。一生懸命に土に触れる小さな手と、それを包み込む温かい眼差し。畑にはいつも、お互いを思いやる温かい絆が満ちていました。

最後はみんなで笑顔のハイタッチ。「またいつでもおいでね」と手を振るお年寄りに、「ありがとうございました！僕たちの部屋にも遊びに来てね！」と元気いっぱいに招待する子どもたち。別れを惜しむように手を振り返し合う姿が印象的でした。



今年もケアハウスの畑に、まぶしい夏が到来しました！

ナスやキュウリに加え、今年は「大物スイカ」を目指してカボチャの苗への「接木（つぎき）」に初挑戦。ところが、育ったツルから咲いたのはなんと黄色いカボチャの花！「主役が違っていいよ！」と畑は一瞬にして大爆笑に包まれました。

すかさず「リベンジスイカ」を植え直し、暑さに負けず朝夕の水やりを徹底。その甲斐あって見事に可愛い実が誕生しました！今は鳥よけの透明カバーを被せ、我が子の成長を見守るように毎日愛おしく観察を続けています。

「大きなスイカ、できた？」とお隣から柵越しに覗きにくる、保育園児たちの元気な声と笑顔は、畑仕事の何よりのエネルギー源です。収穫後に予定している恒例の「焼き焼きパーティ」や、冷たい自家製梅シロップをみんなで味わう乾杯の瞬間を、今から心待ちにしています。



気軽に立ち寄れる居場所

「まちなかカフェ縁（えん）」



「ちょっとお茶しに来たよ」地域の皆さんが気軽に集まる認知症カフェ「まちなかカフェ縁」。まちづくり協議会や地域ボランティアの皆さんがあたたかく迎えてくれる、ホッと和む雰囲気が魅力です。美味しいコーヒーを片手におしゃべりを楽しんだり、イベントで盛り上がったりと、会場はいつもたくさんの笑顔に包まれています。

また、会場には「認知症地域支援推進員」も参加しています。「少し気になることがある」「介護のことで話を聞いてほしい」といったご相談も、お茶を飲みながら気軽にいただけます。皆さまのお越しを心よりお待ちしております。

大人が本気で魅せた熱戦！

2年ぶりに「オトナの運動会」が堂々復活！

待ちに待った施設対抗「オトナの運動会」が、2年ぶりに帰ってきました！「今年こそは勝利を！」と気合い十分の職員たち。息を合わせる「デカバン競走」の大爆笑から始まり、「台風目」では怒涛の声援が飛び交う白熱の展開に。クライマックスの「施設対抗リレー」では、目まぐるしく順位が入り替わる息のむ展開となり、会場の熱気は最高潮！

全6種目を通して、大人たちが子ども以上にしゃがみ、本気で戦い抜いた感動的な一日となりました。



子育て支援センター

イベント 2026/8, 9 月

さとの子育て支援センター

8月

7,18,26 日	AM 水遊び
5 日	AM 観劇鑑賞会
20,28 日	季節の製作
19 日	PM お誕生会
27 日	身体測定

9月

2 日	お楽しみ縁日
10 日	敬老の日製作
15,17 日	季節の製作
16 日	PM お誕生会
29 日	身体測定

うみまち子育て支援センター

8月

3,31 日	PM 赤ちゃん集まれ
4,24 日	紙粘土製作
6 日	観劇鑑賞会
7,19,28 日	AM 水遊び
21 日	PM お誕生会
24,25 日	身体測定

9月

1,2 日	お楽しみ縁日
7 日	PM お誕生会
10,11 日	季節の製作
18 日	敬老の日製作
25,26 日	身体測定

※ホームページ掲載の最新スケジュールをご確認ください。

はじめての集団生活を応援！

「こども誰でも通園制度」

ゆりかご保育園では「こども誰でも通園制度」を実施しています。対象は、普段保育園などに通っていない0歳6か月～2歳のお子さまです。

いつもと違うおもちゃに目を輝かせたり、お友だちと一緒に過ごしたり。たくさんの「楽しい！」を通して、お子さまの成長の第一歩を温かく見守ります。詳細は、ゆりかご保育園または木更津市役所こども保育課までお気軽にご相談ください。

